

Case Study : 岡庭建設株式会社

図面データをクラウドに保管 安全で快適な利用を実現

地域の工務店として災害時に事業継続できる仕組みを構築

2019年1月OPEN
木パコゼロエミモデルハウス

岡庭建設は、住宅の設計、建築、修理・リノベーション、不動産取引までをワンストップで行う工務店。業容拡大に伴うデータ量の増加とBCP（事業継続計画）実現のため、社内に設置したNASをクラウド上のファイルサーバーに置き換えてVPNで共有することにした。これによりセキュリティーを高めつつ、柔軟なデータアクセスと災害時の事業継続を両立している。

岡庭建設株式会社

事業内容 太陽熱を活用し、木を生かした長寿命な住宅の設計・建築を手掛ける。自然素材や雨水利用など地球環境に配慮した家づくりやリフォーム、リノベーションを行う

所在地 東京都西東京市富士町1-13-11

課題

▶ 複数拠点でのNAS運用と事業継続に向けた**データ保全が大きな負担に**

ソリューション

▶ 全てのデータをクラウドで管理し、**セキュアにアクセスできる環境を整備**

導入効果

▶ 一元化したシステム運用と保守の実現で、**BCP対策と運用負荷の軽減を両立**

図面データの安全な保存が課題に

岡庭建設は1970年の設立。地域に根ざした工務店として、設計・施工、リフォーム、不動産取引までをワンストップで手がける。

工務店から不動産事業、中古住宅のリフォームなど、業容の拡大に合わせて拠点を増やしてきた同社では、グループ内のICT（情報通信技術）運用でいくつかの課題に直面した。その1つが扱うデータ量の急増だった。設計用のCADデータ、見積書などオフィスの業務データのほか、建築現場の管理用写真、広報・展示会用の画像データなど、業務の多角化に伴って社内でも共有するデータの量が年々右肩上がりに増え続けた。

「これまでは、別棟の不動産・リフォーム会社、モデルハウスといった拠点から、本社に設置したNAS（ネットワーク接続ハードディスク）にVPNで接続して仕事をしていました。しかし、スタッフが個人のPCに取り出したファイルを作業後に別のフォルダに保存するなどしたため、データの重複が増えてNASはすぐに容量がいっぱいになりました。それに、NASが故障するとバックアップからの復元作業に多大な時間がかかり、業務が止まってしまうのが大きな悩みでした」と岡庭建設の豊村信一郎経理・総務部部長は説明する。

ある日、1台のNASが突然故障する事態が発生。失われた内

容の復元を試みたが、すべて復旧することはできなかった。「紙に残っていた設計図などを再度スキャンし直す労力や、その間に仕事が停滞したことによる業務損失などを考えると、この運用は既に限界なのではないかと感じるようになりました」と豊村部長は振り返る。



岡庭建設株式会社
経理・総務部 部長
豊村 信一郎 氏

さらにNASによる運用の見直しを迫る出来事が続いた。木造建築を手がける事業者の団体、全国木造建設事業協会（全木協）が東京都と応急仮設木造住宅の建設について協定を結んだ。災害時には、避難する住民が長く居住しやすい木造の仮設住宅を作るという内容だ。この協定により、岡庭建設は代表主幹事として仮設住宅の設計と施工管理を担うことになる。

「緊急時には当社が図面データを都下の工務店に迅速に渡さなければいけません。NASによる社内でのデータ管理では、停電や機器故障といった災害時のリスクに対応できないと判断しました。図面データを常に安全にバックアップし、様々なリスクから守るBCP対策が必要となったのです」と豊村部長は説明する。

様々なソリューションを検討する中で出会ったのが、NTT東日本だった。

Case Study : 岡庭建設株式会社

「最初はNASを使った従来のシステムを手がけた会社に相談したのですが、当社の数テラバイトに上るデータ容量をクラウドで管理するコストが想像以上に高く、手が出ませんでした。一方、NTT東日本は、安全性と利便性が高く、日常業務の効率化も図れる幅広いソリューションをいくつか提案してくれた上、運用コストもAWS（アマゾン・ウェブ・サービス）などほかの従量制のサービスと比べて安価だったため、ぜひお任せしたいと考えたのです」（豊村部長）

その中から採用されたのが、大容量データでも快適に通信できる接続サービス「フレッツ・VPN プライオ」、複数拠点からセキュアに接続できるファイルサーバーを設置する「クラウドゲートウェイ サーバーホスティング」、さらには「ギガらくWi-Fi」「おまかせサイバーみまもり」「おまかせアンチウイルス」「フレッツ光 24時間出張修理オプション」などのサービス群だった。

社内のNASと同感覚でデータにアクセス

「フレッツ・VPN プライオ」と「クラウドゲートウェイ サーバーホスティング」を組み合わせることで、岡庭建設の業務データはすべてクラウド上に保管できるようになった。これにより安全で快適な利用環境を実現している。今まで各拠点からインターネットに接続していた通信を本社に一元化。各拠点からは閉域網（インターネットを介さない仮想的な専用ネットワーク）によるアクセスが可能となった上、唯一のインターネットの接続点についても「おまかせサイバーみまもり」によってセキュリティを強化。さらに事務所内のデバイスには「おまかせアンチウイルス」を導入することで、図面データの漏えい防止など、末端的機器まで含めたセキュアな環境が整備された。

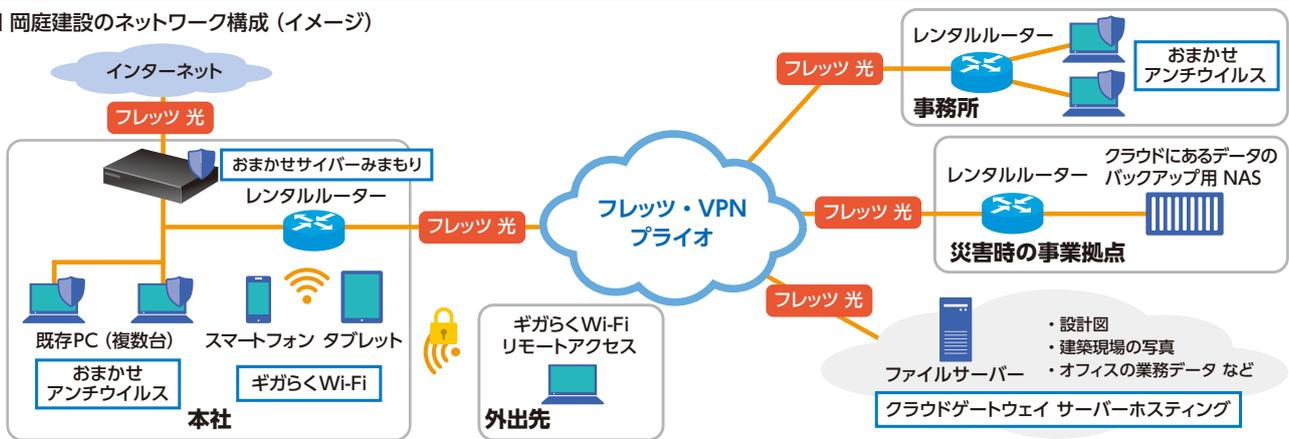
もちろん、煩雑だったNASのバックアップなどの運用負担もなくなった。災害時の事業拠点ともなるモデルハウスにバックアップ用NASを1台設置し、営業終了後に毎日クラウドのデータを自動的にミラーリングする仕組みも構築。これにより、データ損失によるリスクを最小限にできるBCP対策を実現した。

「（VPN プライオによる）クラウドへのアクセスが速いため、ローカルにデータを置いていた頃と同じ感覚で業務を行うことができます。以前はセキュリティに不安があり、外部からのデータアクセスは経営層だけにとどめていたのですが、今では一部の社員も自宅から会社のPCをリモート操作したり、お客様との商談やプレゼンの際にクラウドのデータを参照したり、柔軟にデータ活用が行えるようになりました」と豊村部長は喜ぶ。

オフィスに導入された「ギガらくWi-Fi」で、社員が自席のPCやタブレットなどからクラウドにストレスなくアクセスできるようになった点も好評だ。さらに光回線も含めたサービス全体のトラブルも「24時間出張修理オプション」によりワンストップで解決できるため、安心感は大きい。

NTT東日本の対応にも評価が高い。「細かいところまで常に親身になって相談に乗ってくださり、社内運用の過程で増えたデータの重複がNASの容量を圧迫していることを見抜き、その棚卸しを含めた提案をしてくれました。それにより8テラバイトまで肥大化していたデータを3テラバイトまで整理することができました。社内のデータ管理方法を見直すよい機会となり、BCPやセキュリティ以外に当社の業務改革の提案までしていただきました」と豊村部長は笑顔を見せる。

岡庭建設では今回導入したサービスを、建築現場におけるタブレット端末による図面確認や施工管理、展示会などでのVR（仮想現実）プレゼンテーションなどにフルに生かしていく考えた。

■ 岡庭建設のネットワーク構成（イメージ）


サービスの詳細は ▶▶▶ <https://business.ntt-east.co.jp/service/vpnprio/>

VPNプライオ

検索

※文中記載の会社名および製品名などの固有名称は、各社の商標または登録商標です。※文中記載の組織名・所属・肩書き・取材内容などは、すべて取材時のものです。※上記事例はあくまでも一例であり、すべてのお客様について同様の効果があることを保証するものではありません。

お問い合わせは今すぐ！ [Email case_study-ml@east.ntt.co.jp](mailto:case_study-ml@east.ntt.co.jp)